

プロジェクトの立ち上げ、 チームづくりからサポート

↑
社会の課題に気づきをもたらし、新たな価値づくりを目指す「アートプロジェクト」には、チームも、知恵も、資金も必要です。東京アートポイント計画が特に重視しているのは、持続性のカギとなる「チーム」づくり。「アートプロジェクトでこんなことがしたい!」と心から願う人のビジョンをあの手この手でサポートします。

専門スタッフによる情報や スキルの提供

2
アートマネジメントの専門家「プログラムオフィサー」がプロジェクト運営に伴走します。NPO と綿密に対話を重ねながら、企画・運営体制の組み立て方の指南や進行管理、リスク管理等を手がけ、現場の課題をすくい上げてプログラムやシステムにすることで、アートプロジェクトの環境整備や課題解決を目指します。

年間を通したサポートによって、 持続性のある活動を生み出す

3
プロジェクト運営が安定するまでには時間がかかるもの。東京アートポイント計画では、プロジェクト立ち上げの準備期間から複数年にわたってプロジェクトと運営体制の両面の成長を支援します。そのため、アートプロジェクトを担う人材の育成や活動基盤の整備を重視しています。

東京アートポイント計画へアクセス!



■困っていることを相談したい アートプロジェクト相談窓口

「これからアートプロジェクトを実施したい」「プロジェクトの中でこんなことに困っている」という方を対象に、東京アートポイント計画のプログラムオフィサーによる相談窓口を開設しています。



■アートプロジェクトを立ち上げたい 新規共催団体公募

東京アートポイント計画で毎年、新たな共催団体を公募しています。アートプロジェクトを通じ、地域や社会のテーマに寄り添う意欲を持つ団体を歓迎します。

東京アートポイント計画公募ウェブサイトへ⇒ tokyoartpoint.jp



■新たな視点と出会いたい Artpoint Meeting

東京で多様なアートプロジェクトを展開している東京アートポイント計画が、様々な分野の専門家を迎え、アートプロジェクトにまつわる新たな視点と知見を探求するトークイベントを開催しています。



■最新情報を知りたい メールニュース「Artpoint Letter」

毎月、20 日前後に東京アートポイント計画から配信。各アートプロジェクトの最新情報はもちろん、その舞台裏やプログラムオフィサー視点の読み物などをお届けします。

メールニュースの登録⇒ www.artscouncil-tokyo.jp/ja/blog/20507/

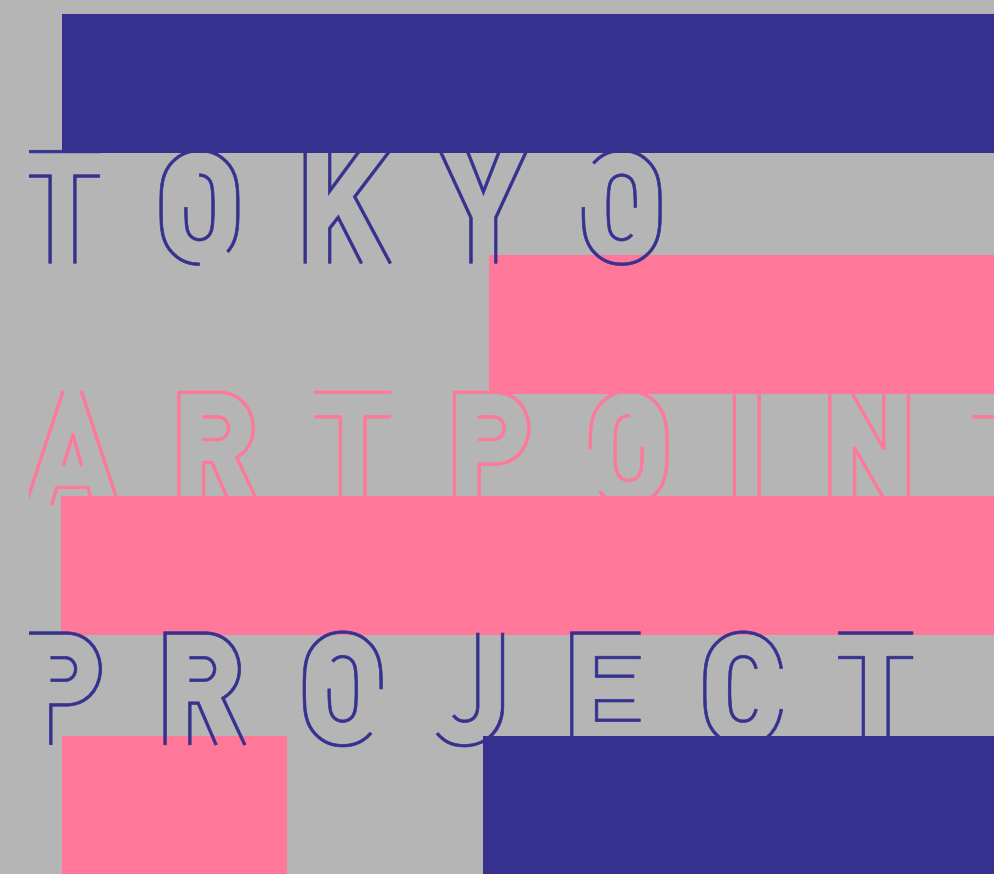
東京アートポイント計画
⇒ www.artscouncil-tokyo.jp//ja/what-we-do/artpoint-concept/
Facebook ページ ⇒ [@tokyoartpointproject](https://www.facebook.com/tokyoartpointproject)

■お問合せ先
アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-28 九段ファーストプレイス 8 階
Tel : 03-6256-8435(平日 10:00 ~ 18:00)
E-mail : info-ap@artscouncil-tokyo.jp

東京アートポイント計画
主催：東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)

TokyoTokyo
FESTIVAL

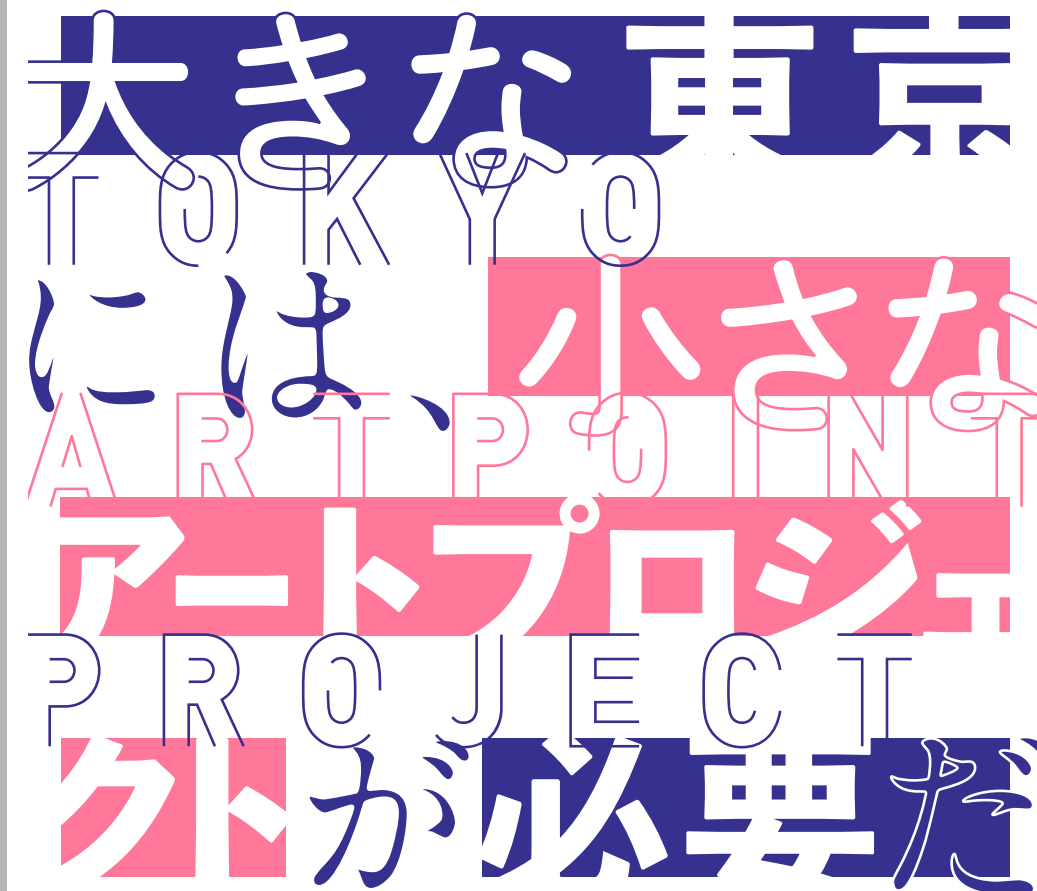
ARTS COUNCIL TOKYO



東京アートポイント計画

ARTS COUNCIL TOKYO

tokyoartpoint.jp



東京アートポイント計画とは?

東京アートポイント計画は、大きな視点を持った小さな活動を応援する取り組みです。東京都、アーツカウンシル東京、NPO* との共催で 2009 年からこれまでに、47 団体と 38 件のプロジェクトを実施してきました。地域や社会課題に根ざしたアートプロジェクトの運営を通じて、人材の育成や活動基盤を整備する中間支援事業として展開しています。

*NPO 法人のほか、一般社団法人、社会福祉法人など非営利型の組織も含む

アートポイントとは?

アートプロジェクトが継続的に動いている場であり、その活動をつくる人々が集まる創造的な拠点のこと。単に場所を指しているのではなく、アーティスト、運営スタッフ、ボランティア、その場を楽しむ来訪者も含めて「アートポイント」を形成しています。

PROJECT

東京アートポイント計画のアートプロジェクト

2009年からこれまでにNPOを中心に47団体と38件のアートプロジェクトを共催してきました。* テーマやプロジェクトの規模など、その形は活動によって様々。日常や社会の課題に時間をかけて取り組む「東京アートポイント計画」の中から、特徴的なプロジェクトをご紹介します。*2019年1月現在

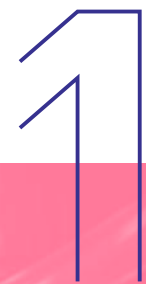
無縁社会の中に新たな縁、 コミュニケーションを育む

人のつながりの希薄化が課題とされる下町エリアで、市民とアーティストが協働し「音」をテーマとした多様な企画を展開。NPOだけでなく行政や大学機関も関わり、地域の新たな縁づくりを目指す。

プロジェクト名：
アートアクセスあだち 音まち千住の縁
団体名：
東京藝術大学音楽学部・大学院国際芸術創造研究科、NPO 法人音まち計画、足立区
活動エリア：
東京都足立区千住地域ほか
共催期間：
2011年度～



イミグレーション・ミュージアム・東京
「フィリピンからの、ひとりひとりマキララー知り、会い、踊るー」よりパーティー「フィリパビボ!!」
足立区内に集うフィリピンコミュニティとの交流によって生まれたプログラム。外国にルーツを持つ人々の生活様式や文化背景を紹介し、日常の中で新たな文化交流を育む試み。



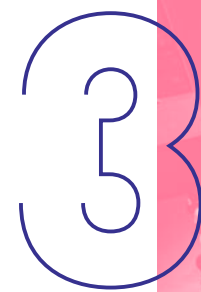
R.I.P. TOKYO (撮影：GO)
羊屋白玉が22年間一緒に暮らした愛猫の月命日に、江古田のまちの変化を確かめ、買い集めた食材でスープを作り、参加者みんなで食べるというささやかな行為の積み重ねを通して、都市が抱える潜在的な問題に取り組んだアートプロジェクト。



プロジェクト名：
東京スープとブランケット紀行
団体名：
一般社団法人指輪ホテル
活動エリア：
東京都練馬区江古田地域ほか
共催期間：
2014～2017年度

都市の移ろいの 速度に向き合い、 東京の“看取り” を考える

生活圏に起こる「はじまり」と「終わり」に目を向け、立ち止まったその場所から見える景色とは。劇作家・演出家・俳優の羊屋白玉を中心に、縮小社会に向き合うための“看取り”の方法を探求する。



もやもやを探して 一境界線を問う 研究者たちによる アートプロジェクト

プロジェクト名：
500年のcommonを考える
プロジェクト「YATO」
団体名：
社会福祉法人東香会
活動エリア：
東京都町田市忠生地域
共催期間：
2017年度～

YATOの緣日
かつて忠生地域で親しまれていた竹細工のワークショップや、地域の昔話が散りばめられた影絵、ミニライブを開催。リサーチで出合った地域の歴史や文化をプログラムに反映させながら、ゆっくりとプロジェクトを育てている。

500年先の暮らしを、 いま、この場所から想像する



地域についてリサーチしながら、これから500年続く「場」と「人」のつながりの仕組みを考えるプロジェクト。世代を超えた遠い未来を見つめることで、人の想像力の可能性を穏やかに引き出す。



障害、ケア、労働、住処、ジェンダーやセクシュアリティ、国籍などの複層的な「境界線」をテーマに、研究者のチームが東京における「共生」を問い直す。

プロジェクト名：
東京迂回路研究
団体名：
NPO 法人多様性と境界に関する対話と表現の研究所
活動エリア：
東京都内各所
共催期間：
2014～2016年度

東京迂回路研究フォーラム「対話は可能か？」
いまこの社会に存在するわたしたちが、それぞれの異なりを見つめ、共に生きるということを感じ、そのありようについて考える3日間のフォーラムを開催。(撮影：富田了平)